

「チャレンジ種」をまこう！

長い夏休みを経験し、本日、2学期がスタートしました。

保護者や地域の皆様の温かい励ましや見守りに、心から感謝しております。

1～6年生がそれぞれに課題をクリアして、ひとまわり大きくなって新学期を迎えていることと信じます。今学期も、自他の「命」を大切に、「勉強」を頑張っていきましょう。

とりわけ2学期は「学級づくりの学期」だと思います。学校教育において、学びの基盤はやはり「学級」です。毎日の授業はもちろんのこと、たくさんの行事や校外学習、地域の方々との学びなどを通して、「みんながうれしいのが一番」の心を大切に、友情をさらに深めながら、学び合う・高め合う集団としてレベルアップしていきましょう。そんな毎日の学びの中で、「未来への種まき」をしっかりと欲しいと願っています。

1学期は、「あいさつ種」「しんせつ種」「とくい種」をまくことができた児童がたくさんいました。今学期も引き続き、その場その時にそれら3つの種をまき続けていきましょう。そして、さらにプラスして、今学期は「チャレンジ種」をまけるといいなと思っています。ちょっと難しいこと、ちょっとしんどいこと、ちょっと苦手なことに、「あえて挑戦する」気持ちを大切にしたい。ちょっとだけ勇気を出して、ちょっとだけ我慢して、ちょっとだけ背伸びをする。そのちょっとだけが積み重なると、大きな「力」になると思うのです。そういう意味の「チャレンジ種」をまいて欲しい。

オリンピックや甲子園などからも、結果がすべてではないことを学んだでしょう。チャレンジすることの大切さや、「その日」までの毎日の積み重ねの尊さを学んだことでしょう。できないから挑戦する・自信がないから挑戦する・「未来の自分」のために挑戦する・なかとともに挑戦する。… その姿は、実にまぶしく、美しい。

令和6年9月2日

千種学園

栄栗市立千種小学校長 上山 昌秀